



この桜は先輩方が卒業の記念植樹として
毎年1本ずつ病院の廻りに植えられたものです

初心にもどって

看護部長 荒木多美枝

看護部の理念

質の高い看護、介護を提供すると共に、看護者自身が働きがいを持ち個人の成長が実感できる看護部をめざします。

基本方針

個々の特性を理解し、個別的、持続性のある看護、介護をめざします。

この看護部の理念と基本方針を掲げて2年になります。私達の中で、どれだけこの理念と基本方針が浸透したのでしょうか。私はこの時期が来るといつも考えさせられます。これは看護に携わる以上永遠のテーマかもしれません。しかし、それに臆することなく邁進していきたいと思えます。

あなたにとって質の高い看護、介護とは何でしょう。患者さま、そしてご家族の皆さまにとって質の高い看護、介護とは何でしょう。私達看護者にとって質の高い看護、介護とは何でしょう。

目の前にいる患者さまの病気だけを見るのではなく、その人をトータルで見て欲しいのです。ありのままのその人を見てください。そしてその人のために私達には何が出来るのか、何が

出来ないのかを常に考えて欲しいのです。業務に忙殺されるのではなく、いつも患者さまの目を見て欲しいのです。あなたの笑顔と声かけを待っているのです。耳を傾けてください。声なき患者さまにも…。知って欲しいのです。患者さまから教えられることが如何に沢山あるのかを。さあ！視点を変えてみましょう。何気ない日常の中に学ぶべき多くのことが隠されているはずですよ。

忘れないでいてください。病院は患者さまの為にあることを、そして私達は看護、介護のプロであることを！（新人であっても職場に入れば既に貴方はもうプロなのです）貴方が初めて看護、介護を職業として選んだ日のことを。誇りに思ってください！あなたの選んだ道を！

理念を掲げ、新人研修、管理職・中堅職員研修、実習指導者講習会、学会発表、勉強会、委員会etc、私達の取り組みはまだまだ始まったばかりです。そして毎年4月には私達の元にも新しい仲間が来ます。この時期こそ若く希望に満ちた人達からパワーをもらい、看護の原点に立ち返り、初心を忘れることなく皆さまに質の高い看護、介護を提供できるよう努力して参ります。

地域とのネットワークを築く 「憩の郷」の第二幕が始まった

社会福祉法人 憩の郷 施設長 宮沢和志

「憩の郷」は、この4月でオープン3年目を迎えます。この2年間は、施設を安定的に運営することが大きな課題でした。これを第一幕とするなら、これからは第二幕が始まります。きょうは私の考える「憩の郷」のこれからのプランをお話したいと思います。

＊

「病院から地域へ」

日本の精神医療の歴史をたどってみると、病院に隔離・収容するという時代が長く続きました。精神障害者を社会で受け入れるにもその受け皿がなく、必然的に長期入院となるケースが多かったわけです。また、社会の差別や偏見も大きな障害でした。結果として、すべての責任を家族に押しつけたり、入院が長期にわたりました。しかし法律の改正や障害のノーマライゼーションの考え方が出現し「病院から地域へ」という流れが精神医療の本流になりつつあります。

病院も社会から閉ざされたものになっていきました。90年代に入って状況が少しずつ動き出し、ちょうどこの施設の話が持ち上がった平成九年頃には「病院から地域へ(入院から外来へ)」という大きな流れができつつありました。

＊



医療と行政との連携から誕生。

そのような状況を背景に、精神障害者のための社会復帰施設「憩の郷」は生まれました。当施設は、行政(大府市)と医療(共和病院)が手を組んで設立した施設です。この地域で長い間、精神医療に携わってきた共和病院がノウハウを出し、大府市が土地と資金の一部を提供するという形で設立された全国的にも珍しい施設です。立派な英断をしてくださった大府市と、ご協力下さった知多保健所に感謝したいと思います。

＊

精神障害者のためのコーディネーター。

これからの課題は「地域とのネットワーク」をどう築いていくかということになります。精神障害者を地域で支えていくことは、医療・保健・福祉が一体となってサポートしていくことです。「憩の郷」は福祉の分野が主な活動の場となります。「憩の郷」は、精神障害者の就労訓練をお手伝いする通所授産施設「ワーキングスペース おおぶ」と日常生活の支援や相談を行なう「地域生活支援センターキャンパス」を運営していますが、これだけでは点にすぎません。

現在、当地域には、地域の作業所や友人や仲間があつまる場、病気を理解して雇用してくれる企業、相談電話サービス、家族会、ボランティアといった精神障害者を支えるさまざまな組織ができあがっています。ところがこれらの連携はまだうまくいっているとはいえません。これらの組織とネットワークを組んでコ

ーディネイトしながら本人にいろいろな情報や社会資源を提供していくというケアマネジメントの役割を担うのが私たちの施設の役割だと思っています。

＊

ボランティアも大きな力に。

数年前から大府市の社会福祉協議会が一般市民を対象にボランティア講座を開いています。受講生の中から「ひまわり」というボランティアグループが育ってきました。いま、それらの人々が私たちの活動をサポートしてくれています。

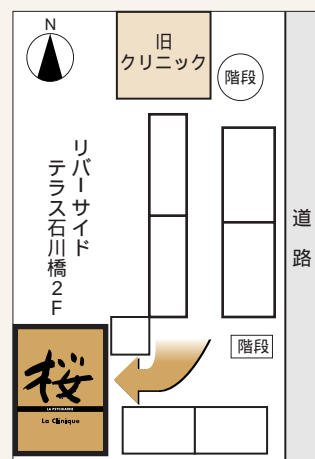
この仕事にはお手本がありません。毎日が試行錯誤の連続です。ただ、これを必要とする人がいて、非常に喜んでいてくれる。これが我々のエネルギーとなっています。これからも地域の多様な方々と連携して活動を一層充実させていきたいと思っています。今後ともご支援をお願い申し上げます。



桜クリニック移転のお知らせ

平成14年4月1日(月)

下記の通り、リバーサイドテラス石川橋内で移転いたしました。



それに伴い住所が一部変更になります。

名古屋市昭和区壇溪通五丁目六番地
リバーサイドテラス石川橋 B-11号

TEL 052-835-8787

FAX 052-835-8900

尚、TEL & FAXの変更はございません。

平成13年度 知多半島地域こころの健康 フェスティバル

TOKONAME

2002年3月17日、常滑市民文化会館&常滑市中央公民館において、私たち一人ひとりの心の健康を考える集い『知多半島地域こころの健康フェスティバル』が開かれました。フェスティバルは、今年で3回目を迎え、知多半島五市五町の自治体をはじめ、平成12年7月に設立された知多半島地域こころの健康づくり連絡協議会の医療機関・福祉団体・ボランティアなど全部で60余のメンバーが参加し行われました。

当日は好天に恵まれ、会場には大勢のみなさんが集まりました。



会場では歌やダンスのパフォーマンス、体験発表、セラミックサウンドの演奏、日本福祉大学付属高校「楽鼓」の皆さんによる和太鼓の演奏、ジョン・ギャスライトさんによる講演と盛りだくさんで、ジョンさんはスコットランドの民族衣装に身を包みバグパイプを演奏しながらの入場に皆一様に驚かされましたが「ハブニングは心のビタミン」と私たちに体験させてくれました。「人生を楽しむために視点を変えよう」「人の夢を叶えることは、自分の夢に近づくこと。それが豊かな心を育む」とお話しされたのが印象的でした。その他にも様々な活動や作品を紹介した展示コーナー、相談コーナーが設けられ、野外広場では靴飛ばし大会や大道芸が行われ参加者を楽しませてくれました。また、多くの施設やグループが趣向を凝らしたパズルや自主製品の販売、おでん、うどん、ラーメン、みたらし団子などの模擬店で賑わいました。詳しくは、<http://www.kyowa.or.jp/festival/festival.htm>にてご覧いただけます。



子育て ノウハウ

～子どもの成長の指標～

先回は子どもが自立するための必要条件の「選択する力」について述べましたが今回は「課題を処理する力」について考えてみましょう。人はその人生において色々な出来事や困難に遭遇します。子ども達にも同じことが言えましょう。小さな子どもであれば欲しいものが手に入らないときや大切な物を他の子に取られてしまったり、壊れてしまった時にいったいどうするのか。泣いて母親に頼り解決するか、自分なりの工夫や方策を見いだすのか。それぞれの年齢発達段階で、対処の仕方には差があります。いつの年代になっても、それぞれの課題があり、それらに直面し解決しなければなりません。小さな子どもが歩き始めたとき、当然おぼつかない歩行で転びます。そこで泣いて母親を求め、抱き上げてもらうとすれば、その子どもは自分で歩くという課題を解決する力が身に付かないことになるかもしれません。母親が直接、手を貸すのではなく「起きてごらん、頑張って」と声をかけ励まして自力で起きあがったとすれば、それは一つの課題を乗り越えたことになり困難があっても立ち向かう基礎ができるのです。小学生になり友達にいじめられ、突き倒されて家に帰り母親に泣いて訴えたとき、母親は「誰がやったの？先生に言いつけてくる」と子どもに代わって学校に文句を言うのは感心しません。いじめられた辛さを傾聴し、共感し、無条件に受け止めましょう。そして子どもと一緒にどうしたらいいのか考え、子どもの出した結論を支持し行動することを応援しましょう。このように子どもが遭遇した困難なことを通して、親や教師がどう対応するかによって子ども達が自分に降りかかった問題に向かい合い、考え、解決する練習をすることができるようになります。大人が答えを教えるのではなく、子どもが出した答えや方法論に少し不安が感じられたとしても、行動する勇気を認め、失敗しても「それ見たことか」などと叱ったり、軽蔑したりせず違う方法を見いだすよう支援するのが良いでしょう。

かつて3Kといって「汚い・キツイ・危険」な仕事に就くのを嫌がられた風潮がありました。現代の若者達は辛い事は避けて困難を乗り越える力が無いように感じられますし、無責任な大人が増えているようにも思います。しかし一方、社会全体が「人間の生き方を見直そう」という動きも出てきています。こういう中で自己責任を取れる人となる為のひとつの方法として、子どものときから課題を処理する力を付けるのは大切な事だと考えます。

院長 榎本 和

編集後記



待ちに待った春が来ました。個人的には1年で最も好きな季節です。まず、新しい仲間との出会いの季節です。患者さまにより優しい医療を提供出来るように、その仲間とともに、良いチームワークを作っていきたいと思っています。さらに、生命力を最も感じる季節です。桜が満開に咲き、草花が芽を出し、小鳥のさえずりや風の匂いさえも私たちにエールを送ってくれます。私は、

病院の周りの桜並木が大好きです。毎年、患者さまと散歩に出かけ、桜吹雪の中を歩きます。どの患者さまも、花を見上げて、とても良い表情をされます。職員はそんな患者さまの表情から潤いと安らぎを感じます。仕事をしていてやりがいを感じる瞬間です。さあ、皆さんは、この春にどんな出会いがあるでしょうか？ 1つ1つの出会いを大切に、春を満喫しましょう！

検診における 検査の目的と 見方・読み方

その①

新年度を迎え、皆様は今年も住民検診や会社での検診を受けられることでしょうか。毎年受診後にも

らった個人票を眺めて一喜一憂されているのではないのでしょうか？そこで今回と次回、2回に分けていろいろな検査の目的と検査値の見方・読み方について簡単に解説してみましょう。

中性脂肪	食餌中の主要な脂肪成分で動脈硬化の危険因子です。食事による変動が大きく、空腹時以外での採血は誤差が生じます。
総コレステロール	動脈硬化の危険因子で、原発性・続発性高コレステロール血症のスクリーニング検査です。
HDLコレステロール	血中に余ったコレステロールを肝臓に戻して動脈硬化を防ぐ働きをします。善玉コレステロールともいわれます。
リポ蛋白	動脈壁へのコレステロールの沈着に直接関与しており、冠動脈硬化、虚血性心疾患の独立した危険因子です。
尿素窒素	腎機能の指標として広く利用され、腎不全の他、消化管出血等で上昇します。
クレアチニン	筋肉内でクレアチンから産生される窒素化合物。各種外的因子の影響を受けない腎機能の指標です。腎不全で上昇します。
尿酸	痛風の原因となる物質で、高値になれば、腎障害、尿路結石の原因にもなります。
GOT(AST) GPT(ALT)	代表的な肝機能の指標。肝炎等肝細胞障害で血中に増加します。GOTはその他、心筋梗塞等の心疾患や、筋肉疾患でも増加します。
γ-GT	肝障害を見るための代表的な血清膠質反応。慢性肝疾患等で上昇します。
ALP	肝・胆道疾患、骨疾患等で上昇を示す酵素です。
GTP	肝・胆道疾患で上昇。アルコール性・薬剤性肝障害でも上昇します。
ch-E	肝臓で合成される酵素。肝炎や、有機リン剤中毒で低下、脂肪肝等で高くなります。
T-Bil	血中のヘモグロビンの分解産物。胆石・肝炎等肝・胆道疾患や溶血性貧血等、血液疾患で上昇します(黄疸)。
LDH	全身の組織や臓器に分布する酵素。肝臓・心臓・筋肉・血液疾患等で上昇します。
TP	栄養状態と肝・腎機能の指標。肝硬変やネフローゼ症候群等で低下し、脱水や多発性骨髄腫等で上昇します。
Alb	肝臓で合成される蛋白質。肝硬変など高度な肝障害では合成障害により、低下します。

A/G	血中のアルブミン(A)とグロブリン(G)の比を算出したもの、重症肝疾患やM蛋白血症等で低下、免疫不全症候群等で上昇します。
Amy	主に膵臓や唾液腺より分泌される消化酵素、急性膵炎や耳下腺炎等で上昇します。
LAP	さまざまな臓器や胆汁中に広く分布する酵素。肝・胆道疾患で上昇します。
血糖	血中のぶどう糖を測定し、糖尿病を診断します。
HbA1C	赤血球にあるヘモグロビンとぶどう糖が結合してできるグリコヘモグロビンを調べる方法。過去1~2ヶ月の血糖コントロールの指標となります。
白血球数	細菌感染症・炎症、慢性白血病等で増加。肝硬変症、無顆粒白血症等で減少。
赤血球数	一定量の血中に含まれる赤血球数を示します。貧血で低下。
血色素量 (ヘモグロビン)	一定量の血中に含まれる血色素を示します。貧血で低下。
ヘマトクリット	一定量の血中に含まれる赤血球の容積の割合。貧血で低下。
血清鉄	赤血球のヘモグロビンを構成する成分。欠乏で低色素性小球形貧血となります。
血小板数	出血したときに血を止める働きをします。
MCV, MCH MCHC	3者の相互の関係を比較して、貧血の種類を推測します。

検査値はおおよその目安で、少くらい値が正常からはずれても、必ずしも異常や病気とはいえません(同じ検査項目でも機能によって、正常値が少し異なります)。判定は、医師が全てのデータと経過をみて総合的につけます。自分で勝手に悩まず、医師などに相談してください。多くの検査は、異常の疑いのある人を選ぶためのふるい分け(スクリーニング)のためです。「要精査」と仮に指示されても、余分な心配をせず二次検査を受けてください。万が一本当に「異常」であったとしても、毎年定期的に検診を受けていれば、早期に発見されたものであり、治癒する確率が高いと思います。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!
患者様に安心と満足を提供する医療良質且つ効率的な医療の提供
患者様へのサービスの充実

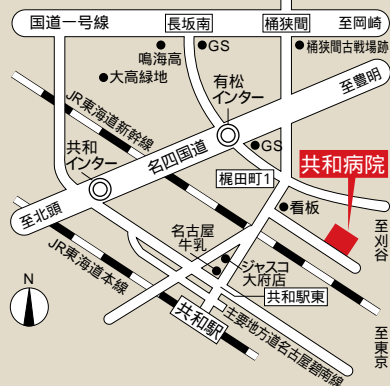
私たちが目指す『楽しい職場』とは!
毎日の出勤が楽しくなる職場
職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

わたしは、利用者の皆さまへより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただくために努力しています。それには利用者の皆さまと医療者の意志の疎通が最も重要であると考えます。これを実現するために、わたしたちは思いやりのある、人格を尊重した医療を提供するとともに、以下のような医療を目指しています。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報は保護されます。

病院長 榎本 和



特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>

俳句コーナー

名譽院長 加藤 邦之助

永き日や 欠伸うつして 別れゆく 漱石

明治二十九年四月、松山の中学から五高へ栄転の時、東京へ行く高浜虚子と松山から広島まで船で一緒に行ったときの句です。

船上でいろいろ話をしていた疲れが、春の穏やかな瀬戸内海の景を眺めながら気が緩んで大きな欠伸になった。とそれを見ていた虚子もつい釣られて欠伸が出てしまった。それで二人で大笑いして話が更に弾んで別れになった。

この句の詠まれた時の事情を知っていれば以上のような想像が出来て楽しいですね。それに「欠伸のうつる」という生理現象が巧みに生かされていますね。

俳句は、他「とか、寂」とか他にこの様な洒落諧謔、コトワザも元来あってよいものと思っています。

別離の句といえど悲哀が多いのですが、永き日や」と「欠伸」とで本当に明るい別れになっています。

この句をみて、欠伸ならぬ連想...漱石虚子、ホトトギス、我が輩は猫...が次々と脳裡に浮かんでいきます。